

1 日時・場所 11月 28日(月) 教室(3年4組)

2 学年・学級 3年4組(男子16名・女子14名)

3 題材について

- 本学級の児童は、図画工作科の授業でかいたり、つくったりすることを楽しみにしている児童が多く、造形活動に意欲をもって取り組むことができる。反面、かきたいものやつくりたいものの具体的なイメージがわからず、なかなか活動を始めることができない児童がいる。また、表したいものがあったとしても、材料や用具をうまく使えなくて途中で活動が進まなくなってしまうたり、途中で投げ出していい加減に仕上げてしまったりと自分の思いを十分に表せない児童もいる。
- 本題材は、広島菜をキャラクターとして、絵に表す題材である。児童は、総合的な学習の時間に広島菜を育てる中で、間引きをしたり、毎日の水やりや日々の観察を続けたりして、自分たちの手で育てていることを実感してきた。大事に育ててきたからこそキャラクターに表すときに、発想や構想を広げながら、形にこだわって表現したり、思いに合う色を選んだり、組み合わせたりして、自分なりの表し方を工夫すると期待した。また、様々な画材を用意することで、工夫しながら、適切に使おうとする意識へつながると考えた。さらに、広島菜をより身近に感じ、育てた喜びや満足感を味わい、今後、収穫に向けてより大切に育てていく意識の向上につながるものと考えている。
- 指導にあたっては、自分の広島菜を大切に感じながら、表現意欲を高めるとともに、安心して造形活動に取り組めるよう、総合的な学習の時間を活用し広島菜を育ててきた。導入では、広島菜をキャラクターにすることに取り組みやすいよう、キャラクター化した例をいくつか児童に紹介する。発想の段階において発想することができにくい児童へは、事前に、広島菜を見てかいた観察日記を参考にさせたり、友達の活動の様子を見に行くように促したりするなどして、すべての児童が自らの意志で表現することの喜びを実感できるようにしたい。子どもたちの豊かな発想を引き出し、意欲的に作品づくりに集中できるように、準備物を様々に用意するなど学習環境を整え、これまでに経験した方法や新しく獲得した方法で、自分の思いを豊かに表現させたい。

4 題材の目標

- 自分で考えた広島菜のキャラクターを形や色を工夫して、楽しくつくろう。

5 題材の評価規準

	ア造形への関心・意欲・態度	イ発想や構想の能力
題材の評価規準	自分が考えた広島菜のキャラクターを、絵に表すことを楽しもうとしている。	自分が考えた広島菜のキャラクターを表すために、形や色を考えている。

6 指導と評価の計画（全1時間）

時間	学習活動	学習活動における具体的評価規準等		
		評価規準 評価方法	十分満足できると 判断される状況	努力を要する状況 への手立て
1	<ul style="list-style-type: none"> いろいろなキャラクターを鑑賞し、つくり方を考える。 広島菜のキャラクターのイメージを膨らませる。 	ア 活動の様子を観察 イ 活動の様子を観察・ 作品	<ul style="list-style-type: none"> キャラクターのつくり方がわかり、自分からすすんで考えてみようとする。 自分が考えた広島菜のキャラクターを表すために、効果を考えて形や色を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろなキャラクターを見せて、イメージを膨らませる。 自分の好きなキャラクターイメージでよいことを伝え、自信をもって取り組むことができるよう声をかける。 友達の表現方法を参考にしてもよいことを伝える。

7 本時の目標

○自分で考えた広島菜のキャラクターを形や色を工夫してつくろう。

8 準備物

(指導者) 色鉛筆, 折り紙など

(児童) 画用紙, パスティック, 水彩用具, 水性ペン, のり

9 本時の展開

学習活動	○教師の支援 ☆努力を要する状況への手立て	評価規準・評価方法
1 いろいろなキャラクターを知り、キャラクターのつくり方をつかむ。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島菜づけを持ち帰るときのラベルにキャラクターを添えることを紹介する。 ○ キャラクターのよさや特徴をつかみやすいように、具体物を用意し紹介する。 	
2 本時の学習内容をつかみ、かき方の約束を確認する。		
自分で考えた広島菜のキャラクターを形や色を工夫してつくろう。		D キャラクターをかくこ

	<p>方の約束を例示し，作業の見通しをもたせるようにする。</p>	<p>とに興味を示し，楽しくキャラクターをかこうとする。(ア)</p> <p>※活動の様子を観察 児童のつぶやき</p>
<p>3 自分の表したいことを考えながら，形や色，材料を選び工夫して表現する。</p> <p>4 後片付けをする。</p>	<p>○ 思いのままに表せるように，いろいろな材料や用具などを用意する。</p> <p>☆ なかなか取りかかれない児童や集中できない児童には，言葉をかけたり，相談にのったりする。</p> <p>○ 自分の作品に自信がもてるように，個々のよさを認め励ます。</p> <p>○ 仕上げた作品は，黒板に掲示して，それぞれの発想のよさを認め，共感する。</p> <p>○ 協力して後片付けが，短時間でできるように言葉をかける。</p>	<p>○ 表したいことに合わせて，形や色，材料などをもとに，つくり方を考える。(イ)</p> <p>※児童の様子を観察 つくりつつある作品</p> <p>○ 表したいことに合わせて，形や色，材料を選び，表し方をいろいろ試しながら思いのままに表す。</p>

10. 参考資料

